

明日をひらくとし
都市



YOKOHAMA 12

こうほう
広報よこはま

2025

GREEN
×
EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

©Expo 2027

し みん ふ たい
市民のみなさんと、世界の舞台に！
つぎ ばん ぱく よこ はま
次の万博は横浜です！



横浜市長 山中竹春

市長だより

横浜市は、「循環型都市」(ものを捨てずにくり返し使う都市)となるため、いろいろな取組をしています。たとえば、市内のパン屋さんと協力して、売れ残ったパン(まだ食べられるパン)を専用のロッカーで売って、食べ物の無駄を減らしたり、家庭で使い終わった油を集めて、飛行機を動かす燃料を作ったりしています。

「すべてに、次に活かす」ことを大切にします。資源をめぐらせることで、ごみを減らし、地球の気温が高くなる原因のCO₂を減らす。これが横浜がめざす「循環型都市」です。

この動きを支えているのは、市民のみなさまです。横浜には、環境にやさしい暮らしを自分たちで広げている人がたくさんいます。この取組を“STYLE(スタイル)”と呼びます。「横浜には、こんなSTYLEがある!」という思いを全国に広げるため、100個のSTYLEを紹介するプロジェクト「STYLE100」

を始めました(3ページをみてください)。市民のみなさまの熱い思いと行動が、日本の循環の輪をさらに広げていくように、発信していきます。

2027年、横浜で「GREEN×EXPO 2027」が開催されます。花と緑に囲まれ、環境にやさしい未来の社会がテーマです。この万博を、市民のみなさまといっしょに創るため、横浜市の出展では、STYLEの考え方を大切にして、横浜がめざすグリーンな社会を日本や世界に発信します。横浜の地域資源や市民のみなさまのいろいろな工夫を世界に伝える、とてもよい機会にしています。

ボランティアの募集も始まりました。活躍の場はさまざまです。みなさまひとりひとりの力が、横浜の魅力を伝える原動力になります。
市民のみなさまと力を合わせ、たくさんの笑顔が咲く万博にしていきたいと思います。



GREEN
×
EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

こうしき
公式マスコットキャラクタートゥンクトゥンク ©Expo 2027

おおさか よこはま えがお 大阪から横浜へ、笑顔のバト し みん 市民のみなさんと、

さんか ボランティアとして参加してみませんか

EXPO全体

来る人に花壇（花を植えるところ）の見どころを紹介し、おもてなしを行う「花・緑ガイド」など、EXPO全体のボランティアを順番に募集します。

募集中



花・緑ガイド

会場の中の花壇の見どころを紹介



2026年1月頃 募集開始



植物管理

会場の中の花壇の手入れ、草をとるお手伝い



運営サポート

会場内と会場の案内など

よこはまし しゅってん

横浜市出展エリア（横浜市民活動フィールド）

横浜市は、公園愛護会などの環境活動をしている団体と、市民のみなさんといっしょにつくるエリアとして「横浜市民活動フィールド」を会場の中につくります。

このエリアでは、環境活動や地域をきれいにすることに取り組んだことをいかして、ツアーガイドや花壇づくり、プログラムのお手伝いをするボランティアを募集します。

くわしいことは、これからお知らせします



ツアーガイド

横浜市民活動フィールドで行う取組の案内



フィールドづくり・プログラム運営補助

横浜市民活動フィールドで行う花壇づくり、
プログラムのお手伝いなど

【会場全体図】



※画像はイメージです



GREEN×EXPO 2027とは

瀬谷区・旭区の旧上瀬谷通信施設で開かれる国際的な博覧会です。世界の花・緑や環境にやさしい未来をつくる新しい技術が集まります。

【開催期間】2027年3月19日（金）～9月26日（日）



くわしいことはこちら

つなぐ！ 世界の舞台に！

次の万博は横浜！
GREEN×EXPO 2027
Expo EXPO 2025

▲大阪・関西万博最終日、大阪市長から横浜市長へバトンタッチ

横浜のまち全体を EXPO会場に！

市民のみなさんといっしょに作る、地球にやさしい100のSTYLE

横浜で地球にやさしい暮らしをするみなさんの取組(STYLE)をお知らせします。EXPOが始まるまでに、100個のSTYLEを発信する予定です！



地球1個分で暮らそう
STYLE 100
CITY OF YOKOHAMA



こうかいちゅう
InstagramでSTYLEを公開中！

オール横浜で EXPOへの体験をつくる！ STYLE PARTNERSがスタート！

STYLE PARTNERSは、EXPOを楽しむ気持ちを広げます。未来の横浜に向けて、STYLEをやっている人たちといっしょに、市内のいろいろな場所で地球にやさしいSTYLEを広げるためのパートナープログラムです。



▲STYLE PARTNERS スタートイベント(10月27日)



Q. STYLEをやっているみなさんに聞きました！
どんなEXPOにしたいですか？



まちの中でも EXPOへの期待を話すみなさん

あなたの地球にやさしいSTYLE、発信してみませんか？

こんな人を募集しています

横浜市内で「循環型経済」「脱炭素※」「生物多様性※※」など、地球にやさしい活動をしている人

STYLE 応募
(公式サイト)



くわしいことはこちら

※ 二酸化炭素(CO₂)をへらすこと

※※ 自然の生き物が影響しあってつながりを持つこと

EXPOをもっと近くに感じよう!

ラッピングトレインに乗ろう!

ラッピングされた市営地下鉄ブルーラインとグリーンラインの電車がEXPOが終わるまで走ります。EXPOの電車に乗ってワクワクを感じてみよう!



トゥンクトゥンクに乗せて走ろう!

トゥンクトゥンクの絵がはいった横浜だけの125ccまでのバイク用のナンバープレートです。

ナンバープレートをもらうときに選ぶことができます。
また、希望する人は1回だけ無料で交換できます。

くわいことは
こちら



オフィシャルグッズを手に入れよう!

オフィシャルストアでは、Tシャツ・帽子・クリアファイル・
アクリルスタンド・お菓子が買えます。

トゥンクトゥンクの公式ライセンス商品が買えます。

くわいことは
こちら



©Expo 2027 2027年国際園芸博覧会公式ライセンス商品

年末年始の横浜市からのお知らせ

施設がお休みになる日

市役所・区役所
マイナンバーカード特設センター
12月27日(土曜)～1月4日(日曜)

※区役所は一部の手続きだけ12月27日(土曜)午前中でできます
※マイナンバーカード特設センターは12月27日(土曜)にできます

行政サービスセンターについて
市立図書館について

コンビニ交付
行政サービスコーナー

市立図書館(全部)

12月29日(月曜)～1月4日(日曜)

※戸籍証明書のコンビニ交付は12月27日(土曜)・28日(日曜)もお休み

12月29日(月曜)～1月4日(日曜)12時まで

※一部の図書取次所はお休みがちがります

急に病気になったとき、けがをしたとき

すぐに病院に行くかまよったら

●かながわ救急相談センター お休みなし・24時間れんらくできます
TEL:#7119 TEL:045-523-7119
FAX:045-242-3808 (耳の不自由な人・病院などの案内)

●横浜市救急受診ガイド



くわいことは
こちら

夜間急病センター お休みなし・20時～24時

診療科目
内…内科 小…小児科
眼…眼科 耳…耳鼻咽喉科

桜木町(中区桜木町1-1)	内 小 眼 耳	045-212-3535
北部(都筑区久保西1-23-4)	内 小	045-911-0088
南西部(泉区和泉中央北5-1-5)	内 小	045-806-0921



くわいことは
こちら

※日曜・祝日・年末年始の昼間に病気になったら、住んでいる区の休日急患診療所を利用してください。

年末年始の資源とごみ収集

12月31日(水曜)～1月4日(日曜)までごみ収集はお休みです。※粗大ごみ受付センターもお休みです

●ごみは朝8時までに出してください。ごみを集めた後は、ごみは出せません。

くわいことはごみを出す場所にあるお知らせか、ウェブページを見てください。古紙・古布(いらない紙や布)の「資源集団回収」の日は住んでいるところによってちがいます。自治会・町内会か、回収業者へ直接きてください。

●粗大ごみは12月がとても混むため、年内に集められないことがあります。前もってもうしこんでください



くわいことは
こちら



2025年 横浜10大ニュース 投票は12月12日(金)まで!
【きくとこ】市民局広聴相談課 TEL:045-671-2335 FAX:045-212-0911



リチウムイオン電池などの捨て方がかわります!



出せるもの

- リチウムイオン電池など
 - 乾電池
 - コイン電池
 - ボタン電池
- 充電して何回も使えるもの
(例)モバイルバッテリー・電動自転車のバッテリーなど

「燃やすごみ」の日に他のごみと分けて、
「電池類」として1つの袋で出してください



できるだけ電池を
使い切ってください。
テープをはって、電気が
ながれないようにします。

出せないもの

- ふくらんだ電池・こわれた電池
 - ポータブル電源
 - 自動車・オートバイ用のバッテリー
- 住んでいる区の資源循環局収集
事務所に直接持つて行ってください
集められないため販売店やメーカーに相談して下さい

※一番長いところが、金属のものは30cm以上、それ以外のものは50cm以上は「粗大ごみ」です。

きくとこ 資源循環局業務課 TEL:045-671-3819 FAX:045-662-1225



海、港、緑、歴史、地域、人々など、さまざまな魅力を持つ横浜。このまちの彩りを「よこはま彩発見」として届けていきます。
今回は、横浜市歴史博物館(都筑区)からです。

ウェブ版では
投票で
くわしい話は
読者プレゼント
があります

企画展「北条幻庵(ほうじょうげんあん)一横浜・小机城と関東の戦国一」

横浜市歴史博物館 主任学芸員 阿諱訪青美

は若いときに亡くなりました。三代・氏信と四代・氏光は北条氏
が上杉謙信や武田信玄など戦国の有名な武士たちとともに活
躍しました。

2021年度と2022年度に、横浜市は小机城跡の発掘をして
調査を行いました。かわらけ(土器)や陶磁器のかけら、建物
のあとなどが見つかりました。この調査の結果や、古い文書や
絵、工芸などの資料をとおして、北条幻庵の生涯と、小机城の
戦国時代の様子を紹介します。

ぜひ博物館に来て、横浜にのこる戦国時代の様子を感じてく
ださい。



▲伝・北条氏信使用の甲冑 個人蔵
小田原城天守閣保管・写真提供

横浜市歴史博物館

有料

【交通】「センター北」駅でおりて、歩いて5分。駐車場(有料)もあります。

【お休み】毎週月曜(祝日、休日のときはつぎの平日)、12月28日~1月4日



きくとこ 横浜市歴史博物館 TEL:045-912-7777 FAX:045-912-7781

ちが みと しゃかい おたがいの違いを認めて思いあう社会へ

人にはそれぞれ違う背景があり、違うことは、当たり前です。だからこそ、おたがいに理解しようとする気持ちやおたがいを大切にする心が、社会をあたたかくします。

横浜市では、若い人たちが書いた人権作文コンテストや、専門学校といっしょにポスターを作り、人権について考える機会を広げています。12月4日～10日は人権週間です。

作品に込められた思いにふれて、「人を大切にすること」について考えてみませんか。

きくとこ 市民局人権課 TEL:045-671-2718 FAX:045-681-5453

◆人権作文コンテスト

市内の中学校121校53,459
作品の中から選ばれた、横浜市長
賞「対話のない世界で、」ほか選ば
れた作品を12月10日(水)から
ウェブページで見ら
れます。



くわいことはこちら

◆人権啓発ポスター



渡り鳥
横浜市
小さな
百人一首
デジタル
アーツ
専門
学校

みのが ひろ ぼうし わ いじめをしないさせない見逃さない～学校から広げる、いじめ防止の輪～

いじめは、自分の周りの大きな人権の問題です。本人が嫌だ、つらいと感じれば、それは「いじめ」です。
いじめを早く見つけて防ぐためには、社会全体で小さな声やサインを見逃さないように取り組みます。



「いじめ」について考える

横浜子ども会議

すべての市立学校で、子どもたちが自分でいじ
めの問題を考え、安心できる学校づくりのアイデア
を出しています。
その声を学校いじめ防止基本方針にのせて、
もっとよい学校にしていきます。



いじめ防止市民フォーラム

子どもと大人が質問や意見を話し、子どもが考える「大人に
相談したいこと」を聞き、大人はいじめを防ぐために何ができる
かを考えます。

【日時】12月23日(火) 13時30分～15時35分
【会場】開港記念会館



小さなサインを見逃さない

子どもたちが安心して学校で生活できるように、すべての市立学校ではICT(情報や技術)を使います。
先生と心の専門家がいっしょに、心のようすを見守ります。



くわいことは
こちら

子どもたちの小さなサインに気づいたら…

声をかけて話を聞き、相談できる場所を教えることも子どもの心の支えになります。

相談窓口

24時間子どもSOSダイヤル

TEL: 0120-078310 (365日24時間いつでも)
臨床心理士や先生だった人が話を聞き、いっしょに考えます。

学校生活あんしんダイヤル

TEL: 045-624-9081 (火～金9時～17時(祝日、年末年始はお休み))
スクールソーシャルワーカーが学校に相談できない話を聞き、いっしょに考えます。

きくとこ 教育委員会事務局不登校支援・いじめ対策課 TEL:045-671-3296 FAX:045-671-1215

♦ 首都圏で初めて! ♦

日本新三大夜景都市に選ばれた

よこはま やけい 横浜の夜景

歴史のある建物やビルがつくる横浜の景色にくわえて、日本でとても大きいイルミネーションのイベント「ヨルノヨ」などがみとめられました。

横浜市では、2024年の観光で使われたお金がこれまで一番多い4,564億円となりました。これからも、夜の観光などの取組をしていきます。

世界をひきつける夜のかがやきをぜひ見にきてください。

この冬、横浜のきれいな夜景を楽しもう!

横浜の都心臨海部では、11月から2月にかけて、いろいろなイルミネーションがまちを彩ります。横浜駅周辺から山手エリアまで、観光地やお店、商店街が光に包まれ、とてもきれいです。スタンプラリーや写真コンテストなど、歩いて・写真を撮って・参加して楽しめることができます。

この冬は横浜の夜を楽しみませんか。



くわしいことはこちら

12月4日(木)から ヨルノヨ2025

港の水際線とまち全体が光と音楽でつながるショー「ハイライト・オブ・ヨコハマ」や、大さん橋での大きなプロジェクションマッピングなど、横浜の夜景が一年で一番かがやくときが楽しめます。

【開催場所】大さん橋、山下公園ほか

【開催期間】12月4日(木)~30日(火) 17時~21時5分



夜の海辺が、もっと楽しく、もっと心地よく!

臨港パークから山下公園までおよそ5kmの海辺は、昼は、ジョギングや散歩、家族でゆっくりすごす人たちで賑わいます。夜景が美しい夜の時間も楽しめるよう、歩きやすい道や夜の明かりをととのえます。

横浜の海の近くをもっとよくしていきます。



臨港パーク(イメージ)



山下公園(イメージ)

きくところ にぎわいスポーツ文化局にぎわい創出戦略課 TEL:045-671-4041 FAX:045-550-4688